

イメージを表示するための基本のタグです。
" "の部分に前もって準備している画像のファイル名を入力します。

<P >

ページ内に段落を設けたいときに使います。
テキストの後に付けるとテキストが改行され、さらに一行分のスペースが挿入されます。

<HR >

横罫線を表示するときに使います。
例えば、<P ><HR ><P >とすると罫線の上下が通常よりも空きます。

【課題1】の解答

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>      立      中学校</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<CENTER>
<FONT SIZE=5>
      中学校のホームページ<BR>
</FONT>
<HR>
<IMG SRC=SCHOOL.JPG>
<P>
      中学校は      にあります。<BR>
</CENTER>
<HR>
      中学校の生徒数<BR>
</BODY>
</HTML>
```


ALIGN = の に left, right を指定すると、イメージファイルの左右にテキストが表示されます。
テキストが長く収まりきれなかった分は、イメージの下の行に表示されます。

チャレンジしてみよう

- 1 <HR SIZE = WIDTH = % ALIGN = left >
「ファイル」 - 「開く」から、「D : ¥生徒¥HTML¥shp」を選びます。
次の命令を付け加えなさい。

```
      :
      中学校のホームページ<BR>
</FONT>
<HR SIZE=8 WIDTH=50% ALIGN=left>
<IMG SRC=SCHOOL.JPG>
<P>
      中学校は      にあります。<BR>
<HR>
      :
```

ファイル名「shp2」で保存後、「実行」 - 「プレビュー」で確認しなさい。

- SIZE : 罫線の太さをピクセル数で設定できます。
WIDTH : 罫線の長さを画面の横幅に対する割合で設定できます。割合で設定しているため画面の大きさが変われば線の長さも変わります。
ALIGN : 罫線を左右に寄せる設定をします。省略するとセンタリングされます。

「8, 50」の数値を変えたり、「left」を「right」に変えたりして、上書き保存後確かめてみましょう。

- 2
「ファイル」 - 「開く」から、「D : ¥生徒¥HTML¥ren1」を選びます。
次の命令を付け加えなさい。

```
<HTML>
<BODY>
<IMG SRC=SCHOOL2.JPG ALIGN=top>
      この校舎は19      年度に<BR>
      建てられました。<BR>
      1階に校長室や職員室、事務室、<BR>
      2階に普通教室があります。<BR>
</BODY>
</HTML>
```

プログラムを上書き保存しなさい。

「実行」 - 「ブラウザで表示」で確認しなさい。

「top」を「middle, bottom」に書き換えて、その違いを確かめてみましょう。